

令和3年度津別町総合戦略事業（地方創生事業）の実績について

項 目	内 容
1. 北海道つべつまちづくり株式会社との官民連携事業	<p>①事業概要 平成27年度からのまちなか再生に係る継続事業。平成31年3月に設立され、特産品開発・事業創出支援などを実施。令和元年度より町からの委託事業として、“ふるさと納税事務代行・拡大業務”や“移住・起業・空家利活用相談窓口等運營業務”、令和3年度途中より“地域おこし協力隊フォロー業務”を受託。</p> <p>②進捗状況</p> <p>(1) 組織・全体 10月1日からは、特産品販路拡大業務を任務に地域おこし協力隊が1名着任し、まちづくり会社にて活動中。2月1日からは、新入社員が1名着任。3月31日付けで社員1名が退職。乳製品加工品開発を任務に地域おこし協力隊を採用決定（4月着任予定）。 特産品“クマヤキサブレ”については、各店舗での取扱いのほか、5月下旬より、ふるさと納税の返礼品に追加。また、11月17日～1月15日まで北海道くらし百貨店のイベント(アリオ札幌)にて、1月8日～14日には、東武百貨店のイベント(池袋店)にて各種特産品の販売・PRを実施。3月30日～4月5日まで北海道どさんこプラザ札幌店で開催された“津別フェア”にてクマヤキサブレを販売。</p> <p>(2) ふるさと納税事業 4月に“ふるさと納税事務代行・拡大業務”の委託契約を締結。年間寄附目標額を1億円とし、PRなど様々な工夫を凝らして事業を推進していく。活用サイトは、“ふるさとチョイス”、“楽天ふるさと納税”、“ANAのふるさと納税”の3サイトのほか、11月5日から、“さとふる”“ふるなび”の2サイトを活用開始。 各サイト掲載情報の整理や新規返礼品を追加するなど一定の整備を実施したが、寄附額・寄附件数ともに伸び悩み、寄附目標額である1億円に大きく届かず、今年度の寄附実績としては67,011,000円(3,051件)となった。※昨年実績は85,726,255円(4,154件) <u>【昨年比】寄附金額：△21.8%、寄附件数：△26.6%</u></p> <p>(3) 移住定住サポートデスク 4月に“移住・起業・空家利活用相談窓口等運營業務”の委託契約を締結。移住窓口業務や空き家バンクの運営などの業務を実施していく。</p>

町外在住者が所有している町内物件の利活用を図るため、税務係より発送した固定資産税の納付書に空き家バンクの紹介チラシ（一部、住宅系の事業紹介）を同封。チラシ同封の対象者は町内に物件を有する町外在住の個人400件程度。また、9月・12月・3月広報つべつにて空き家バンク紹介チラシを配布。

インターネット（SNSやホームページ）、メールマガジン、チラシ、ポスター等各種媒体を活用して首都圏などへ継続した周知・PRを実施。

町と連携して3月5日～6日で「北海道移住ドラフト会議（参加選手36名、球団12球団）」にオンライン参加。同イベントに参加した道東テレビ(株)で指名した選手等とともに計9名の選手が来町予定。

【移住起業空家等利活用相談窓口対応実件数】

4月：	32件（うち新規	8件）	、空き家バンク物件成約	なし
5月：	26件（うち新規	17件）	、空き家バンク物件成約	2件
6月：	13件（うち新規	12件）	、空き家バンク物件成約	1件
7月：	11件（うち新規	10件）	、空き家バンク物件成約	1件
8月：	18件（うち新規	17件）	、空き家バンク物件成約	なし
9月：	13件（うち新規	13件）	、空き家バンク物件成約	1件
10月：	8件（うち新規	7件）	、空き家バンク物件成約	2件
11月：	15件（うち新規	13件）	、空き家バンク物件成約	なし
12月：	4件（うち新規	4件）	、空き家バンク物件成約	3件（うち土地2件）
1月：	9件（うち新規	9件）	、空き家バンク物件成約	1件
2月：	7件（うち新規	6件）	、空き家バンク物件成約	なし
3月：	5件（うち新規	4件）	、空き家バンク物件成約	3件
年間計：	161件（うち新規	120件）	、空き家バンク物件成約	14件（うち土地2件）

（4）地域おこし協力隊フォロー業務

7月に“地域おこし協力隊フォロー業務”の委託契約を締結。町内の地域おこし協力隊員が生活や就労棟における悩みなどを気軽に相談できる体制を整備するとともに、現役隊員やOBOG、行政職員、地域住民との交流機会を創り、人と町を知る中で、隊員の一人ひとりが町内の生活・就労環境に合わせたそれぞれのライフスタイルを構築し、津別町への定住促進を目的として実施。

常設の相談窓口として地域生活における隊員本人への相談対応や、定期的に職場を訪問し指揮監督者との面談、隔月で隊員同士やOBOG・行政職員・地域住民等を含めた交流の機会を設けての情報交換などを行う。

今年度はノンノの森やチミケップ湖、ゲストハウス nanmo-nanmo 等を会場として交流を実施した。

<p>2. 求人求職マッチング促進事業</p>	<p>①事業概要 移住定住及び空き家についてはワンストップ対応を通じての実績を積み上げてきたところだが、“住”と併せて“職”を紹介することで、より効果的となると考える中でツールが無かったことや、過去に実施した町内事業者へのヒアリング等を通じて人材不足や求人課題を問題視する事業者も複数あったことから、課題解決に向けた施策を実施する。</p> <p>②進捗状況 《ワークINツベツ（北海道津別町仕事情報発信サイト）》 令和2年度事業としてサイト構築及び掲載企業への取材などを実施。令和3年6月21日にリリース。2月に有限会社北野産業が追加され、現在、26件の企業・事業者が掲載されているほか、2件の掲載予定がある。一日平均20を超える閲覧数となり、美幌町・北見市の近隣市町のほか、札幌・横浜・大阪などが多い。 <u>掲載企業より、「当サイトを見て問い合わせがあった」旨の報告をいただいている。</u></p>
-------------------------	---

<p>3. 大学生との連携によるまちづくり事業(北海道大学課外活動団体HALCCとの連携事業)</p>	<p>①事業概要 平成28年に実施した地方創生まちづくりアイデアコンペで優秀賞を獲得したことをきっかけに北海道大学公共政策大学院とのつながりが生まれ、課外活動団体HALCCが設立された。 同年度より活動を開始し、現在まで継続されており、令和2年度事業についてもコロナ禍の中でオンラインとオフラインを組み合わせて実施した。 令和3年度の財源として“いきいきふるさと推進事業助成金”1,230,000円を申請。 <u>今年度も夏季～秋季の間は新型コロナウイルスに係る“まん延防止等重点措置”ならびに“緊急事態宣言”期間であったことから前半の往来や高校生の札幌訪問ができず、“いきいきふるさと推進事業助成金”の実績額については520,000円となった(対象事業費は1,046,500円)。</u></p> <p>②進捗状況 (1) 高大連携事業 ・ <u>自分の理想の将来像を考えるみらいワーク</u> ～高校生が大学生とコミュニケーションを取りながら10・20年後の未来を考えることで、自身のキャリアパスを構想するきっかけとすることを目的とする～ ・ <u>津別の未来の設計図を作る高校生総合計画</u> ～学生生活を過ごす場である津別町の未来を「自分ごと(自分のこと)」として想像することで、“調べる力”“考える力”“伝える力”を身に着けることを目的とする～</p>
---	---

(2) 大学生独自事業

・ふるさと納税のさらなる成長に向けた戦略施策の提案

～HALCC活動において初年度からのテーマである「津別町のPR強化」に対して、ふるさと納税という枠組みを利用し、運営主体である役場・まちづくり会社の視点で産業と製品のPR強化を図ることで産業振興や地域資源の広報・PRへアプローチすることを目的とする～

【全体行程(実績)】

日程	内容	会場等	備考
7月16日	みらいワーク(1年生)	オンライン	
7月19日	みらいワーク(2年生)	オンライン	
8月31日	高校生総合計画①	<u>オンライン</u>	
9月17日	高校生総合計画②	<u>オンライン</u>	
10月15日	高校生総合計画③	津別高校	
11月 2日	ふるさと納税施策提案	津別町役場	大学生独自事業
11月19日	高校生総合計画④	津別高校	
12月 2日	ふるさと納税施策提案	<u>オンライン</u>	大学生独自事業
12月10日	活動成果報告会準備	津別高校、中央公民館	
12月11日	活動成果報告会	中央公民館	YouTube:道東テレビア カウントにて視聴可能
2月 7日	次年度に向けた打合せ	津別町役場	中学生に向けた発表は 中止

4. 家計消費分析業
務

①事業概要

第2期津別町創生総合戦略の基本目標4で掲げている「次世代のまちづくりの担い手人材の育成による持続可能な地域運営の推進を図り、町外への経済の流出を抑制し、地域内で経済が循環する仕組みの構築を目指す。」を実現するための事前調査として、町内世帯における家計支出構造を分析する。

分析結果等に係る詳細については、別途説明。(別資料参照)

公表については、2月下旬に町ホームページにて公表の後、4月広報にて周知を予定していたが、より町民が理解しやすい資料に修正した後に広報による周知を予定。

②進捗状況、今後の進め方

5月

調査協力世帯募集（5月広報、ホームページ等で公募）

7月 5日～ 7月25日

第1回調査実施（3週間の夏季調査）

9月 6日～ 9月26日

第2回調査実施（3週間の秋季調査）

11月12日～12月12日

第3回調査実施（3週間の冬季調査）

12月21日

中間報告（総合戦略会議開催：第1、2回調査について）

2月16日

最終報告（総合戦略会議開催：本調査全体について）※書面会議による

2月22日

分析結果、調査の生かし方などについてホームページにて公表